

マタタビ挿し木とパイプ棚設置講習会の開催（新森研究部／福島県）

事業の目的

全草が利用でき、全草が販売でき、日本の森の中に自生している、栽培作業も女性でも容易な「マタタビ」の普及を通じて、とっつきにくい木材販売からではなく、林縁部から林業や森の植物に興味を持ってもらい、女性の林業就業促進に繋げる。

事業の内容

マタタビ栽培の挿し木方法とマタタビ栽培のパイプ棚の作成方法の講習会

参加人数

10人。薬草蒸しを営む女性、オーガニック直売所出荷の女性、看護師さんかつ小さいお子さん持ちの健康食材に興味のある女性、林業の独立を果たしたばかりの若手夫婦、これから林業界隈を盛り上げたいと思っている伊達市の地域おこし協力隊の若手のお兄さん、若手林業家、高齢者の方などに参加いただけた。

活動の様子



挿し木する前に畑の前で挿し木の方法講習する研介（1/24）
冬の土中に埋める方式の挿し木を行った。



ZOOMの挿し木講習会で挿し木の説明と作業を見せる奈緒（2/9）

真ん中の黄色い水の入ったバケツに、15cmに切った挿し木を入れていく。
その後奥のおじさんが土入りセルトレイに挿すところ。



ZOOM講習会でパイプを打ち込む研介（2/9）



ZOOM講習会で、パイプの垂直を簡単に出せる糸に重りをつけてたらす方法紹介（2/9）



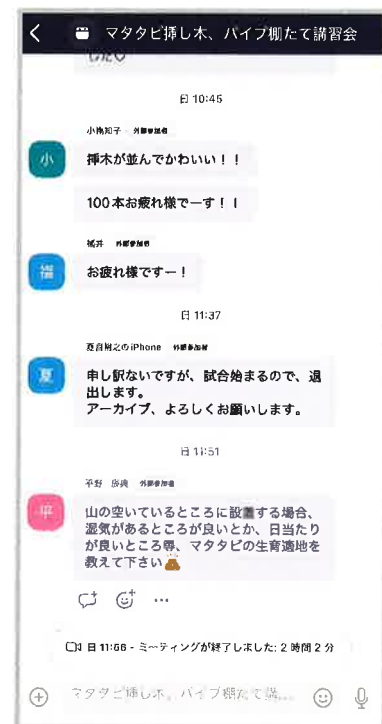
玉切りも希望されたのでやってもらう (1/24)
オーガニック直売所出荷者の女性



林内作業も見てもらう (1/24)



パイプ棚を立てる前に一番大事な水平出しを、水とホースで行う研介 (2/9)



ZOOM講習会のコメント欄に質問などもらい答えながらすすめた。(2/9)